

# 図書館報 ぶらっつ★篠崎

014号

## CONTENTS

- P2~3 **特集 全スタッフが贈る**  
**イチ押しセレクション16選**
- P3 スタッフのセレクション！  
「こどもの一生」
- P4 人物ブックマーク  
「山本周五郎」
- P4 江戸川まいにんぐ  
「妙見島」



## 「気がつけば、もう降りる駅」

### となる本を見つけてみませんか？

10月27日から11月9日は、**読書週間**です。  
 今年は「**国民読書年**」※という事もあって、読書  
 に対する意識を高めるために、国をあげて様々  
 なことが行われています。

※ 平成20年6月、「国民読書年に関する決議」に  
 において、2010年を「国民読書年」とする事が国会  
 で決議されました。この決議では、読書への国民  
 の意識を高めるため政官民が協力し、国をあげて  
 あらゆる努力を重ねることが宣言されています。

篠崎図書館においても、図書館全体を使って  
 読書週間を盛り上げていく予定です！  
 さて、気になるその内容は・・・



### 1 講演会

**「まっとう役立つ、著作権のキホン！」**  
 10月9日(土) 14時開演(13時30分開場)  
 「著作権って、どんなものがあるの？」  
 日常生活において役立つ著作権の知識を、分かりやすく  
 解説します。

### 2 各書棚でテーマをもとに本の展示!!

11月1日(月)~11月30日(火)  
 今年の8月にも、夏休み企画という形で、図書館全体  
 で本の展示をしました。読書週間でも大々的に行います。

### 3 未知の本に出会う幸せ「本の福袋」!!!

11月1日(月)~11月30日(火)  
 テーマに沿って集められた本を袋に詰めて、お貸し出  
 しする本の福袋。借りてみなければ中が分からないので、  
 予想もしなかった、いい本を手にする幸運にめぐりあう  
 かもしれません。

次のページから「**全スタッフが贈るイチ押し  
 セレクション16選**」をお届けします。館長を  
 はじめ、篠崎図書館スタッフ全員が、お気に入り  
 の本を皆様にオススメしています。あっとい  
 う間に降りる駅に着くような、熱中できる本に  
 出会えますように・・・。

### ライブラシネマ篠崎 「三十九夜」

(1935年、イギリス)  
 監督:アルフレッド・ヒッチコック  
 出演:ロバート・ドーナツ  
 マデリン・キャロル ほか

10月23日(土)  
 14:00~16:00(開場:13:30)  
 場所:篠崎文化プラザ講義室  
 定員:70名(当日受付、先着順)  
 どなたでも参加できます。  
 入場料:無料

### 今後の予定

- 11月14日(日) 音楽会「バグパイプと  
中世ヨーロッパの古楽器」
- 11月27日(土) 朗読会  
詳細は決まり次第、広報えどがわなどでお知らせいたします。  
お問合せ:篠崎図書館 (03-3670-9102)まで

# 人物ブックマーク

人物ブックマークとは、著名人とその著作および関連本を紹介するコーナーです。

## 第十葉 本当に価値あるもの 作家 山本周五郎

「赤ひげ診療譚」や「縦の木は残った」で知られる作家・山本周五郎だが、よく“古風な”“地味な”作風と評されてしまう。だがそれは、彼が作中人物と同様、華々しく活躍した英雄や権力者ではなく、最大多数である庶民を多く題材にし、そうした私たちのすぐそばにいる人達の哀しみや喜びにこそ人間の人間らしさを感じることでできる作家だったからではないだろうか。

そんな彼の生き方は、直木賞ほか一切の文学賞を「文学は文学賞のためにあるのではない、読者の好評以上の賞はない」として全て辞退し、「暖かな家

庭は文学の敵だ」と自宅を離れてストイックに創作活動を続け、世俗的な地位や栄誉とは無縁であったことにも現れている。(お酒は別だったようだが…)

“本当に価値あるもの”“人間の本質”を見極めようとしながら、人を信じる小説を書き続けた山本。何か大切なものを失くしてしまった今の日本人が読むべきは、「文豪」や「国民作家」の小説よりも、「読者の遍路の杖になるような小説を書きたい」と語った、彼のような気がしてならない。

### 山本周五郎作品

「泣き言はいわない」山本 周五郎著 新潮社 B917ヤ 篠崎ほか所蔵

山本の主人公たちの名セリフにこそ、彼の書きたかったことが凝縮されているのではないだろうか。

## 江戸川まいにんぐ 発掘 第14回 妙見島

江戸川区に妙見島という島があるのをご存知ですか？ この島は、東西線浦安駅から徒歩10分、東葛西の旧江戸川に位置し、浦安橋の途中から上陸することが出来ます。

東京23区の唯一の天然の島で、滝沢馬琴の代表作「南総里見八犬伝」にも登場しています。かつては、「流れる島」として知られていました。というのも妙見島は、川の流れて北岸が侵食され、その土砂が南岸に運ばれて、長い歳月の間に縮まりながら川を下っていたのです。まるでひょっこりひょうたん島のような島です。しかし、昭和51年に護岸工事が行われ、島の流れは止まっていまいました。

「区内路上観察」で遭遇した、けっこうレアで、それでいてけっこう役立ちそうな情報を毎回お届けしています。

島内は工場が乱立していて、プチ工業団地となっており、トラックがひっきりなしに道路を走っていました。島の中央には、近所で評判の地中海料理を提供するレストランがあります。今回は時間が無く行けませんでした。次回島に行った時には立ち寄りたと思います。



浦安橋からみた妙見島。一見、島っぽくありません。



島名の由来となった妙見菩薩を祀る妙見神社。

## 編集後記

今年も残り数か月、ふわふわしていると1年なんてあっという間ですね。(風雲ふわふわ丸) / 猛烈に暑かった夏を、なんとか乗り越えました。あまりの暑さに、一時は弱々々々々となりましたが、今は涼しくなったので弱々々々々々までは回復しました…。(病弱亭弱々) / 今号のおススメ本特集から読書の秋に一冊いかがですか？(ジーク・信玄) / 新しい本との出会いや発見って良いですねえ～(愛燦燦)

編集・発行：江戸川区立篠崎図書館

住所：〒133-0061

江戸川区篠崎町7-20-19

篠崎文化プラザ内

TEL:03-3670-9102

[しのぎ文化プラザHP]内篠崎図書館ページ  
<http://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>